

## 第8回奈良ESD連続セミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 2020年11月26日(木)19時~21時30分
- ◇方法 Zoomを用いたオンライン研修
- ◇参加者数 16人
- ◇内容 ESD学習指導案の相互検討

### 1. 「平城ニュータウンの主人公」第5学年総合(奈良市立朱雀小学校:中村先生)

- ・イベントにはよく参加する傾向があるが、イベント主催者側として参加経験のある児童はない。
- ・平城京ロータリークラブ主催の標語づくりに取り組む:どんな町にしたいかな  
「まちづくりは人づくり、人づくりはコトづくり」である。
- ・まちづくりとは何か?実践されている方から話を聞く。

キッチンカー・フェスタが開催された。大賑わいだった。

コトづくりへの参加:主催者としてコトづくりに取り組み、地域の人に参加してもらう計画中。

- ・朱雀:人が少ないし、歴史もない、集う場所もない(ニュータウンの課題)

5年生でどこまでできるか?何のためにしているのかをしっかりと理解させることが重要

- ・5年生で主体的に企画して準備運営することができるだろうか。
- ・どうやって課題をあきらかにするのか=ことづくりは何のため?をしっかりと子どもがつかんでいるか。
- …なぜこの人は地域でこんなことをしようとしているのか、ということをつかんでいるか。
- ・この後の展開は? やって終わりにしてはいけない。最後に何を考えさせるのかを明確にする。
- ・佐久間さんと協働する。→

(相互検討)

三木恵介(奈良市立都跡小学校) から全員に:08:01 PM

- ・子どもたちが地域に参画していくという取組が非常に良いと感じた。
- ・主発問は何か?軸になる発問が必要だ。
- ・1・2・3次の流れのつながりが薄いと感じた。

一次の標語はその次にどう活かされているのか?二次(ニュータウンの歴史)をふまえた三次にしてはどうか? 一次 + 二次 → 三次に融合する。テーマが見えてくるのでは。

- ・オンラインでコトづくりをしてみてもいい。
- ・ユネスコクラブのならまちを紹介する動画を参考に、子ども目線で朱雀の町を紹介した動画を作成し、限定付のユーチューブで地域の人に見てもらうことも考えている。

西條 秀哉 から全員に:08:16 PM

子どもがどのくらい危機感をもって行動できたのか知りたい。佐久間さんの危機感を共有できることが大切。

→児童たちは、ニュータウンの人口減少に危機感を持ってそれが行われているのか?

児童の気持ちがそちらへ向いているのか?書初め大会もこれがきっかけで続いていけばいいな

- ・佐久間さんは、なぜそこまで頑張っているんだろう?イベントづくりにこだわっている佐久間さんの思いに迫ることが大切。人と人が交流できる場をつくりたい。あらゆる世代が参加して交流することで、人づくりができると思われている。
- ・色んな方の話や歴史を学んできたが、それで本当に子どもたちがニュータウンの人口減少、少子高齢化の問題を問題として自分事化できているのか。それを左右するのは、佐久間さんの気持ちがどこま

で児童に伝わっているのかだと思う。「コトづくり」に対して佐久間さんが大事にしている思いが子どもたちに伝わらなくてはならないと思う。

- ・この活動を通して、子どもたちが大人になった時に地域の活動に参加及び参画していこうと思えるか
- ・「子どもの参画」 8段階を目指してもらいたい（子どもから大人に働きかけての課題解決）

## 2. 「ひとに出会う」を通して学ぶESDの価値実現 総合的な学習の時間（附属中学校：吉田先生）

1・2学年の全教員と子どもと創り上げる総合的な学習の時間：「奈良めぐり」

方向性を定める：豊かな社会の創り手 やっていることが結果的にSDGsにつながる取り組み  
「たくましく生きる力」を身に付けよう

コロナ禍による様々な自粛、閉塞感の中、沖縄興南中・高等学校の取り組みに触発された。

首里城焼失後も折れずに「バーチャル見学案内」をしている。

奈良でもコロナ禍にまけずにたくましく活動している人と出会わせたい。

観光に携わる人の「おもてなし」「ホスピタリティ」など、これまでとは違う取り組みをされているたくましさにふれさせたい。

奈良在住の外国人：「誰もが取り残さない」ためには、奈良という社会に共に生きる外国人の知る必要がある。日系ブラジル人、玉田エミリア氏、障がい者の立場の人にとって奈良はどのような町なんだろう。「多様性」「多文化性」

奈良への移住者支援をされている方。奈良県まちづくりプロジェクト推進課、

→ まちづくりの視点につなげていく

2年生では自分事化できた子が多かった。

ロールモデルとして大人に出会わせた。

2年生は去年の 外国人＝観光→「よそモノ」感

3年間を見据えたカリキュラムを作成するコトが大事

- ・多様な人と出会うのはとてもよい
- ・表2:先生方の思いと図1：子どものイメージ
- ・弱みを共有できる社会、自分を見つめ直すことが大切 生徒がSDGsを読み解いたことに意味がある。
- ・自分事化させる手立てを明らかにしたかった。